

令和7年度 八千代市保育研修会 「エピペン・アナフィラキシーについて」
アンケート結果（要旨）

参加者：31 施設，87 名 アンケート回収率 100%

1，これまで、エピペンやアナフィラキシーについて医師による研修を受けたことはありますか

半数が「いいえ」との回答でした。今年度、初めて幼稚園9園にも声をかけ、4園参加がありました。今年度は学童保育所からの参加が多く、学童保育所に通う生徒のエピペン所持率が多いのかな、と思われました。また、新規採用職員も毎年いることや、もっと多くの園に参加して学んでほしいので、今後も継続して研修会の参加を促していきたいと思います。

2，貴施設でエピペンやアナフィラキシーについて研修を行っていますか

約8割が「はい」との回答でした。そのうち9割はトレーナーを使用しての研修をしているとの回答で、施設内研修がしっかり行われていることに安心しました。中には、対象となる園児がいる時だけ研修をしているという施設もありましたが、毎年繰り返し施設内研修を実施してほしい旨を伝えていけたらと思います。また、研修を実施していない施設も、今回の研修を機に、施設内研修を充実してもらえると良いと思います。

3，今回の講義内容はいかがでしたか

ほとんどの方が「よく理解できた」「だいたい理解できた」と答えており、武藤先生の講義内容が分かりやすかったことが伺えます。遅れて参加した方は、来年も参加して最初から聞きたいとの声もありました。

4，研修を受けて、エピペンを打つことについてどう思いますか

これもほとんどの方が「人命救助の観点から、職種に関係なくそばにいる者が打つべきである」と回答していましたが、数名は「看護職が打ってほしい（自分は打つ勇気はない）」、「人命救助の観点から打たなければいけないと思うが、看護職がいるのならば看護職に打ってほしい」「このように研修をしっかり受けている人が打ってほしい」など、不安をぬぐい切れない部分があるようです。そのため、勇気をもって対応できるよう、このように定期的に研修を受講することや施設内研修を繰り返し行うことが大切だと感じます。

5，研修内容やエピペンを打つ練習について、感想や意見をお聞かせください

アレルギーやアナフィラキシー、エピペン対応への理解や知識向上が図れたことが結果より見受けられます。また、トレーナーを使用したり本物の試打をしたりすることで、より具体的なイメージが持てたことが分かりました。研修内容をもとに、施設内研修の充実や職員全体の理解を深めてもらいたいと思います。

6, アナフィラキシー発生時の対処法について

この質問には、不安があっても人命救助のため勇気を持って対応したいと大半が思っているものの、落ち着いてエピペンを打てるのか不安という思いも半数ほどありました。だからこそ施設内研修などで、繰り返しシミュレーションしておくことが大切であるという意見に繋がっているな、と読み取れる結果でした。実際の場面で落ち着いて対応できるよう、今回の研修での学びを忘れずに対応してもらいたいと思います。

7, 研修会について

今後も継続して参加したいという意見が多く、何度も記載していますが、継続して参加し知識を深めたり再確認をしてほしいと思います。

また、まだ参加したことのない施設や職員にも積極的に参加してもらえたらと考えています。

事例の紹介はやはり参考になるようです。また、今回のシミュレーション映像は、誤った対処が流れたことで、再確認しながら観ることができたという意見や、施設内研修でも活用したいという意見が多くありました。

また、年々、アトピー体質や喘息症状のお子さんが増えているのか、スキンケアや喘息コントロールについても、もう少し詳しく聞きたいという意見が多くありました。

次回はロールプレイも研修内容に取り込みたいとのお話でしたので、研修内容についても、また先生とご相談できたらと思っております。